

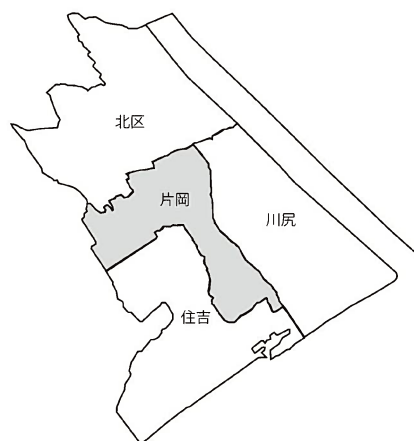
地域別構想 3

片岡地域

地域の概要

■人口、世帯数の変化（住民基本台帳）

片岡地域	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
人口（人）	5,684	5,793	5,793	5,785	5,790
世帯（世帯）	1,883	1,991	1,997	2,010	2,032



■面整備・都市施設整備状況

- 二級河川湯日川沿いに町立図書館、ちいさな理科館などの文教施設、また、健康福祉センター、中央児童館、さゆり保育園、高齢者人材活用センターなどの福祉施設を整備したことで、地域のイメージが向上しています。
- 町を象徴する展望台小山城のある（都）能満寺山公園があります。
- 国道 150 号に沿って商業系用途地域、沿道の後背地に住居系用途地域を指定しています。
- 津波避難タワー等の津波避難施設を 1 箇所整備・指定しています。

I 都市計画に関連する地域課題

地域内には、現在、または将来的に次のような課題があると考えます。

- 健康福祉センター以南の用途地域外にアパートや戸建て住宅等の立地による宅地化が進んでおり、良好な住環境の確保が求められています。
- 南海トラフ巨大地震等の地震発生の危険性が高まるなか、急傾斜地の崩落防止などの防災対策が必要となっています。また、避難地の再確認と危険箇所の周知が必要となっています。
- 地域内には、子連れ又は子ども同士で遊ぶことのできる場所が少ないことから、このような場所の整備が望まれています。
- （都）東名川尻幹線が供用開始され、商業・業務・サービス施設等を誘導し、活力ある沿道利用を図ることが必要となっています。
- 片岡地域の中央を流れる二級河川湯日川沿いに、地域住民の愛着が育まれる散策路の整備が求められています。また、二級河川湯日川の護岸への不法投棄物が河川環境を悪化しているため、対策が必要となっています。

II 地域づくり基本構想

【地域づくりの目標】

およそ20年先の地域の将来イメージは次のとおりです。

子どもに安全で 緑ある 笑顔のまち・片岡

東名吉田インターチェンジに近く、文教施設・福祉施設の利用にも便利な片岡地域は、住民に子育て中の若年層が多いことから、子どもに安全な環境づくりを進めます。

また、町のシンボルでもある（都）能満寺山公園、一段の優良農地である吉田田んぼ、地域をつなぐように流れる二級河川湯日川は、重要な資源であることから、明るく美しい、緑豊かな空間として活用し、地域の環境を高めます。

住みやすさを高める環境づくりとともに、新旧住民や子どもから高齢者までが仲良く笑顔で暮らせる、やさしさのあるまちづくりを進めます。

III 地域づくりの方針

片岡地域の将来像を実現するために、地域づくりの方針を以下のように考えます。

1 土地利用の誘導方針

① 吉田田んぼの環境保全

一団の優良農地である吉田田んぼは、本町の貴重な農業生産地であり、広々とした緑の環境は本町の貴重な資源であるため、土地基盤整備や施設の近代化、農地の流動化等による経営の安定化により、引き続き環境の保全・改善を図ります。また、市街地近郊にある貴重な緑の景観として、継続的に保全するよう体制づくりを強化します。

② 未利用地の計画的な宅地化

未利用地については宅地化が進むと考えられることから、住宅地としての環境を損なうことのないよう、立地する建物の用途に配慮しながら、生活道路や公共下水道の整備と併せたまとまりのある宅地化を進めることが望まれます。そのため、宅地開発においては広い視野で緑化、排水対策、生活道路の形状等について適切に規制と誘導を行うことで、主に用途地域内の良好な宅地形成を図ります。

③ 商業機能の配置

高齢化が進む中、生活に身近な場所にある商業機能は、改めてその大切さが認識されています。このため、国道 150 号沿いにおいては、身近な商業施設を誘導し、既存住宅との調和のとれた土地利用を進めます。

2 都市施設の整備・活用方針

1) 道路

① 宅地化と併せた生活道路の誘導・整備

地域南側の宅地化が進む用途地域外の地区においては、宅地開発に際して、周囲の環境に配慮した生活道路や排水路の配置が行われるよう規制と誘導を行います。

② 危険箇所の改善

交通事故の多い交差点では、できるだけ安全性の確保できる方策を検討し、改善に取り組みます。また、吉田田んぼ内にある道路は、自動車が高速で走行し、交通規制が守られないことがあるために危険であり、減速させる手法の研究、配置などの対応を進めます。

③ 安全な通学路の確保

子どもが安全に通学できる環境とするため、通学路の危険な場所を定期的に把握し、グリーンベルトの設置など適切に対応することで、安全対策を進めます。

2) 公園・緑地

① 二級河川湯日川沿いの散策路の整備と管理

二級河川湯日川沿いの自然豊かな環境は、地域共有の資源として大切です。堤防を有効利用して、(都)能満寺山公園や町立図書館から中央児童館までの施設を結び二級河川湯日川の自然に触れることができるような整備を進めます。また、住民や団体・組織との協働により健康福祉センター、中央児童館周辺の緑地スペースの維持管理を進めます。二級河川湯日川護岸は、地元住民やボランティアなどの協力を得ながら、草刈りなど河川の管理・環境美化に取り組むとともに、不法投棄については、看板等の設置や不法投棄防止パトロールを実施するなどの対策を講じます。

② (都)能満寺山公園の整備

(都)能満寺山公園に整備されている展望台小山城は、吉田町のシンボルとして代表的な施設です。来訪者の満足度を高めるため、高齢者や子どもにも配慮した公園散策路の整備を進めます。また、郷土資料館では、本町の歴史と文化に触れることができるよう運営についての検討を進めます。

③ 施設や宅地周辺の緑化

公共施設や宅地周辺を利用して、地域住民や団体・組織が主体となった緑化を促進し、緑豊かな地域づくりを進めます。

④ 湯日川親水公園の維持管理

湯日川親水公園や公園までの道路の管理は、地域の協力を得て除草などの維持管理を行っていますが、地域住民を交え、良好な公園環境を維持する方法について検討を進めます。

3) 公共施設 ほか

① 公共的な交通手段の研究

地域内に町立図書館や中央児童館、健康福祉センターなどが整備されましたが、公共的な交通手段がなく、高齢化社会の進行に伴い、自動車中心社会において移動を制約される人にとって不便な状況となっています。このため、新たな交通手段の研究を進めます。

3 都市環境の形成方針

1) 都市防災

① 排水困難箇所の改善

備前守隧道（県道住吉金谷線）付近の排水困難箇所の改善を進めます。また、宅地開発などの影響により排水が困難になる場所を検証し、災害が発生する前に対策を講じます。

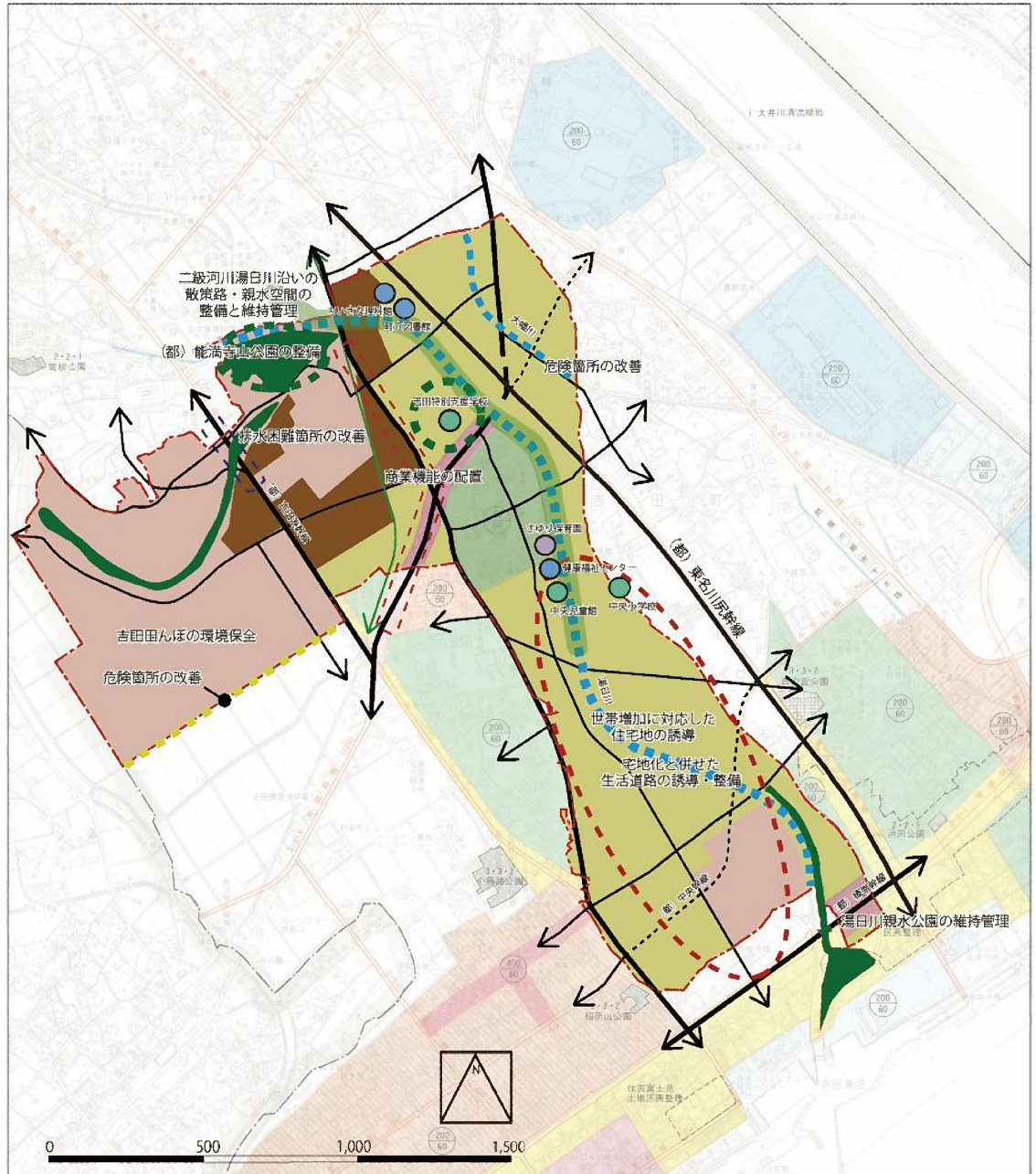
2) 都市景観

① 景観に配慮した看板・サインの設置

（都）東名川尻幹線、国道 150 号線、町道東名片岡辻 3 号線（旧県道島田吉田線）沿道において、景観に配慮した看板・サインの設置・誘導に取り組みます。

4 地域づくり方針図

子どもに安全で緑ある 笑顔のまち・片岡



- | | |
|--------|------------|
| 一般住宅地 | 工業系地域 |
| 低層住宅地 | 公園・緑地 |
| 既存集落 | 農地 |
| 商業・業務地 | 都市的土地利用検討地 |
| 沿道利用地 | |

- | | |
|---------------|---------|
| 保育園・幼稚園 | 太平洋自転車道 |
| 小中高校・教育関連施設 | 地域境界 |
| 福祉・文化・スポーツ施設 | 町界 |
| その他の行政関連施設 | |
| 幹線道路 | |
| 幹線道路(計画) | |
| 補助幹線・区画道路 | |
| 補助幹線・区画道路(計画) | |

IV キープロジェクト

地域の将来像『子どもに安全で緑ある 笑顔のまち・片岡』を実現するため、以下に示すプロジェクトについて、象徴的に取り組むものとします。

◆ 行政が主体となる取り組み

【キープロジェクト1】

二級河川湯日川散策路の整備

① 二級河川湯日川散策路の整備

- ・ （都）能満寺山公園や町立図書館から中央児童館までを結び、二級河川湯日川の堤防を周遊できる散策路を整備します。

② 二級河川湯日川親水空間の整備

- ・ 動植物の生態系に配慮しながら、子どもを含めた散策者が水辺に親しむことのできる場所を整備します。

③ 二級河川湯日川堤防の保全

- ・ 住民や企業、NPO等の活動団体との協力により、二級河川湯日川堤防の緑を保全します。

◆ 地域との協働による取り組み

【キープロジェクト2】

二級河川湯日川の美化活動の実施

① 河川美化活動の実施

- ・ 二級河川湯日川の環境を維持向上するため、中学校や壮年会に加え、地域住民が幅広く参加する河川美化活動を展開します。

